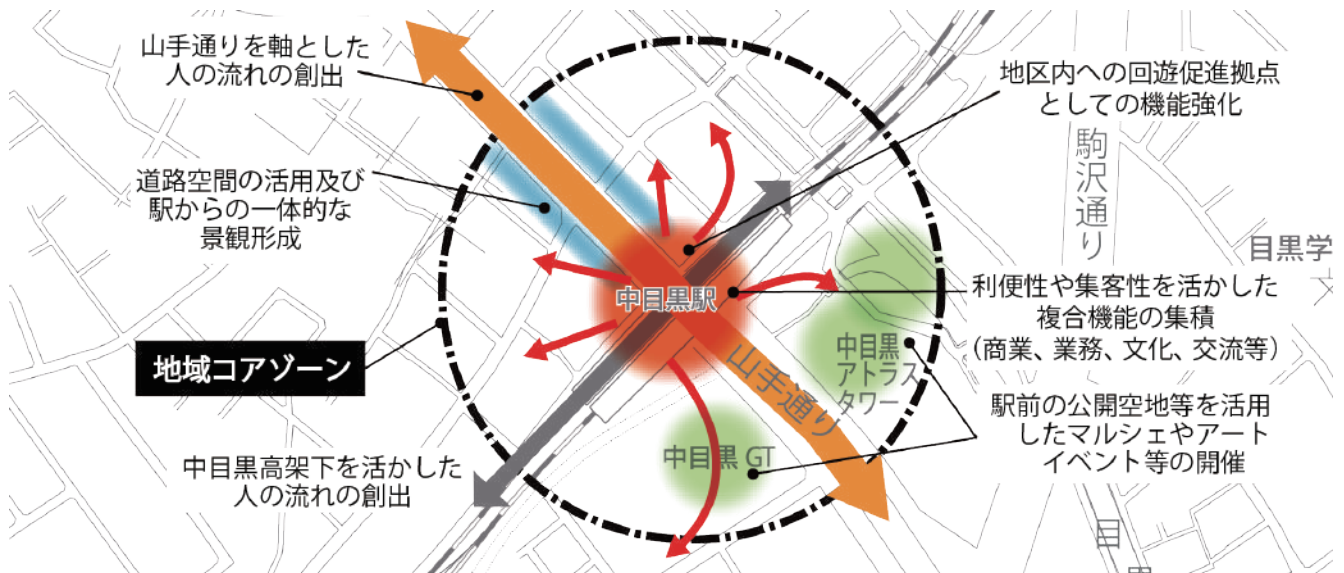


エリアごとの街づくりの方向性

駅前エリア

- 地区の交通玄関口として、商業・業務・文化・交流等の複合機能の集積や駅前の公開空地等の活用による新たな賑わいの創出を図ります。また、地区の情報発信拠点としての機能を強化し、各エリアへの新たな人の流れを生み出します。こうした取組により、中目黒の生業・暮らし・来訪の場として選ばれ続けるよう、**地域コアゾーン**としてのポテンシャルを高めます。

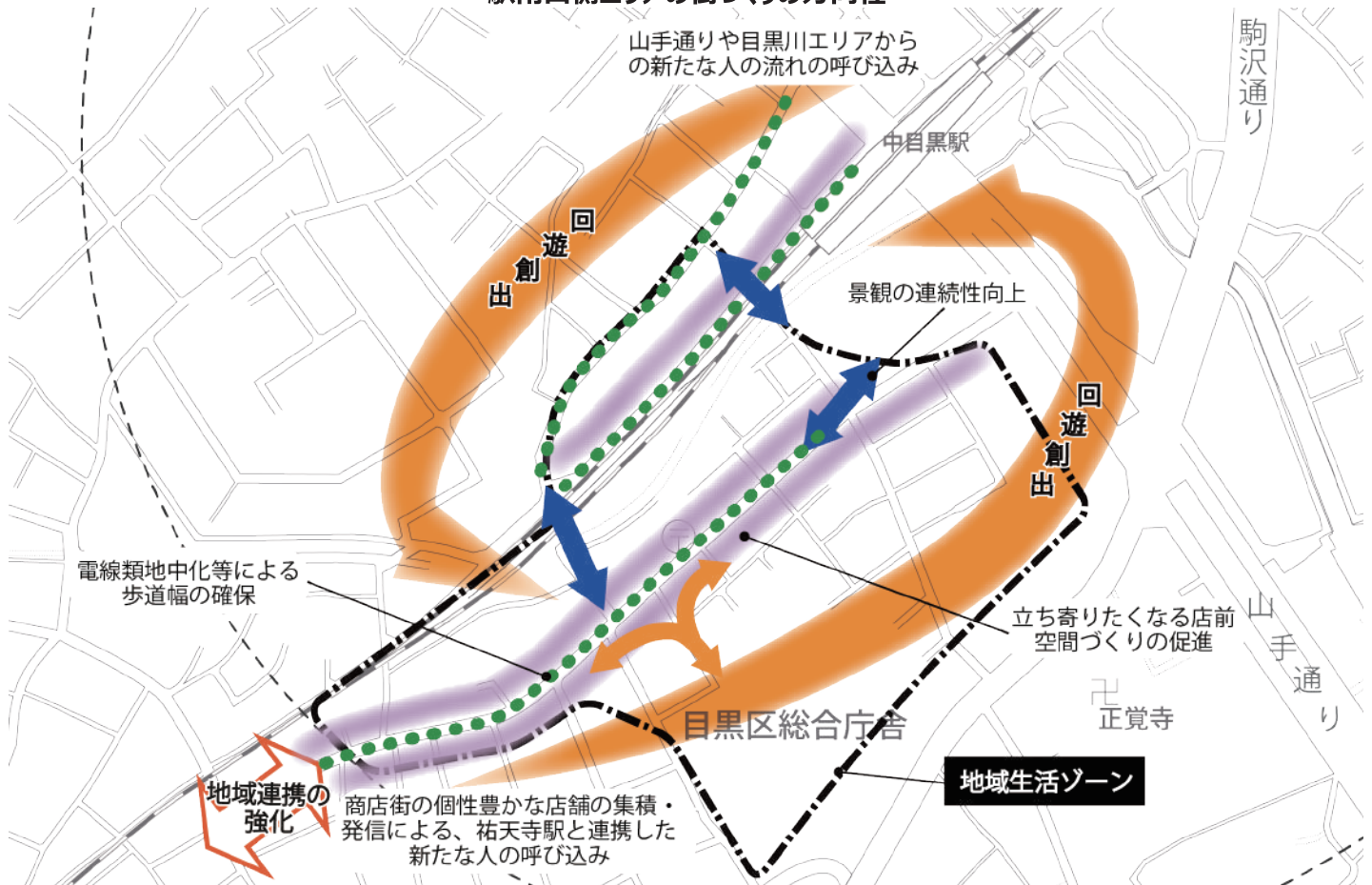
駅前エリアの街づくりの方向性



駅南口側エリア

- 駅から庁舎や商店街につながる動線など、エリア内の主要な動線における景観の連続性を高め、歩行環境の向上を図ることなどにより、**地域生活ゾーン**として新たな人の流れを創出します。さらに、ゆったり店舗めぐりを楽しめるような店前空間づくりを促進するとともに、歩行者の安全確保のための道路空間の改善について、区と商店街が連携して検討を進めます。

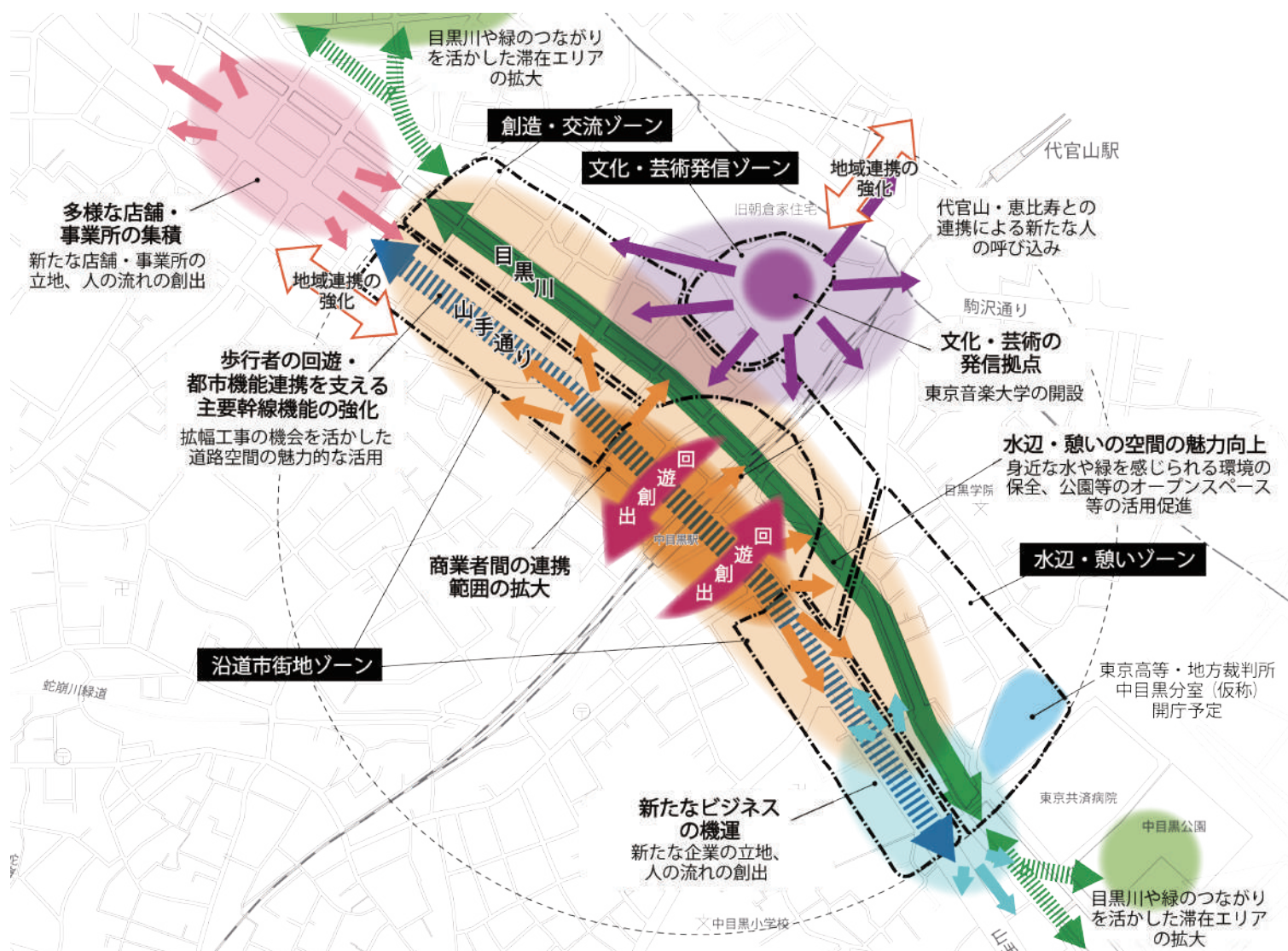
駅南口側エリアの街づくりの方向性



山手通りエリア／目黒川エリア

- 山手通りは、街における沿道市街地ゾーンとして、地区内の歩行者の回遊を支える幹線道路の役割の明確化、沿道の魅力を高める空間づくりを目指します。さらに、公共空間等を憩いや集いの場として活用することで、新たな人の流れを創出します。
- 個性的な店舗が建ち並ぶ目黒川沿いの北西方面は、創造・交流ゾーンとして、河川沿いの快適性や景観の向上等により、ゆったりとした時間を過ごせる場所としての魅力向上、公園等の緑をつなぐこと等による来訪者の滞在範囲の拡大を図ります。
- 新たに開校する東京音楽大学の周辺では、学生と地域の店舗やアーティスト等との連携による取組を進め、文化・芸術を通じた地域とのコミュニティの形成を目指します。さらに、国内外の企業や大学等との連携による新たな文化・芸術を創造する文化・芸術ゾーンとして、魅力ある地域文化の継承・発展を支えていきます。
- 目黒川沿いの南東方面・舟入場周辺は、水辺・憩いゾーンとして、水や緑を感じられる憩いの場としての魅力を維持・向上させるとともに、桜並木や近隣の公園等の豊富な緑をつなぐことで、区民センターや目黒駅方面との連携を強化します。

山手通りエリア／目黒川エリアの街づくりの方向性



住宅市街地エリア

- 住宅市街地エリア内の低層住宅ゾーンでは、良好な街並み形成や緑化の推進等、閑静な住宅地としての住環境を守り育てるとともに、避難訓練や夜間の暗がり抑制などの防災・防犯に向けた街づくりを進めます。
- 低中層住宅地ゾーンでは、良好な住環境形成に向け、暮らしの場としての商業・業務施設と住宅との適切な共存を図るとともに、建築物の不燃化・耐震化の促進、狭あい道路の拡幅整備等による防災性の向上を図ります。
- 複合住宅地ゾーンでは、暮らしやすい都市型住宅地として、住環境と産業環境の調和・共存に向けた土地利用のあり方の検討、新たな居住者・事業者の街づくり活動への参加促進等を進めます。

(5ページへつづく)